

科

学上達



自分が本当にやりたいことをみつけられたら、後はもう大丈夫！

小柴 昌俊

球

陽高校の探究活動の快進撃！

第60回 沖縄県生徒科学賞作品展（自由研究部門）

- 優秀賞（地学） 「沖縄本島中部で採取されるマンガンノジュールの生成過程について」
- 優良賞（物理） 「植物工場における光照射を制御する装置及び水耕栽培装置の製作」
- 優良賞（化学） 「泥染めにおける鉄(Ⅱ)イオン溶出の原因物質について」
- 優良賞（化学） 「クワズイモを用いたバイオエタノールの生成」
- 優良賞（地学） 「マイクロプラスチックの回収方法」

第60回 沖縄県生徒科学賞作品展（野外実習新聞部門）

野外実習賞 「野外実習で学んだヤンバル」

第67回 高校生による生物科学展（部・同好会部門）

- 最優秀賞（生物） 「オガサワラゴキブリにおける形態的分類の再検討」
- 優秀賞（生物） 「アフリカマイマイの移動方法の特異性について」

第67回 高校生による生物科学展（授業課題・自由研究部門）

優秀賞（生物） 「オオバギの花外蜜腺が存在する理由」



▲ 生徒科学賞作品展で優秀賞を受賞した地学チーム



◀ 野外実習賞を受賞した新聞

10月に沖縄高等学校文化連盟主催「第60回 沖縄県生徒科学賞作品展」、沖縄生物教育研究会主催の「第67回 高校生による生物科学展」が開催されました。両大会は12月に開催される九州高等学校生徒理科研究発表会 長崎大会の沖縄県予選も兼ねています。毎年、多くの球陽生が九州大会の切符を手にしていましたが、今年は全分野について九州大会出場が決まりました！

コロナ禍でなかなか研究活動が進まない中、粘り強く努力してきた成果だ

と思います！今年の九州大会は、残念ながらオンライン開催となってしまい、直接色んな高校生とディスカッションはできませんが、12月の論文審査に向けて、これからも頑張りたいと思います！

今回、残念ながら予選を突破できなかった研究や出品に至らなかった研究もありますが、挑戦は無敵大です！どんどん挑戦して皆さんしかたどり着いていない新たな知見を創り上げていきましょう！

参加した生徒たちの感想

・今年コロナもあり、研究に取り組む時間がかなり減ってしまって少し焦ったが、3つ目の塩川を探す、という目標をもってチームで頑張ってきたので進めてこれたので安心した。また中間発表の質疑応答で答えることが出来なかったところなど自分の理解がまだ深まっていないことも知ることが出来たので、これからも頑張りたい。

・自分たちの研究を知ってほしいという気持ちでポスター作成や発表ができた。質問を受けて、この研究のこれからの発表で改善した方が良さ

を見つけることができ、今後のモチベーションが高まった。また、教授から厳しい指摘を受けたが、自分たちの発表について真摯に向き合ってくれたと思い、嬉しかった。

・花外蜜腺がある葉が少なかったり、オオバギの葉を採集したりするのが大変だったけど、それぞれの条件と花外蜜腺数の関係を読み取り、アリとの共生関係の研究につながるような調査ができて良かったです。



◀ 実験に用いているマンガンノジュール(地学)

▶ 実験に用いている植物工場(物理)